

2026年度

総合型選抜Ⅲ 発信コミュニケーション型

適性検査Ⅰ

【1】例にならって、以下の(1)～(5)の語・表現の使用例として最も適切な例文を各群の①～③から一つ選び、 に○を記しなさい。

例) 役不足

- ① ありがたいお話だが、店長の職など、私には役不足だと思う。
- ② あれだけの才能を持っているのに、あの配役では、役不足だ。
- ③ いろいろやってみたが成果を出せず、役不足で申し訳なく思う。

(1) どこ吹く風

- ① 昨日の笑顔はどこ吹く風か、今日は朝からむっつりしている。
- ② 何度注意してもどこ吹く風といった様子で、まったく効き目がない。
- ③ あれほど反対していたのに、どこ吹く風だか、今日は賛同者側に回った。

(2) 由々しい

- ① プレスリリース直前の情報漏洩は、看過できない由々しき問題である。
- ② 長年のお稽古を積み重ねた彼女は、大勢の前で由々しき舞いを披露した。
- ③ 会場は、受賞者をお祝いする人々の温かく由々しき気持ちに包まれていた。

(3) 心外

- ① 期待外れの結果であったが、心外を見せず平静な態度を装った。
- ② 念入りに準備した発表の場で心外な指摘を受けたので、落ち込んでいる。
- ③ あまり手ごたえを感じていなかったが、心外通りの結果が出て満足している。

(4) あっけらかん

- ① あっけらかんと泣き崩れる友に、私は声をかけられなかった。
- ② 彼の部屋は人が住んでいるとは思えないほどあっけらかんとしている。
- ③ 不採用の通知を受け取った彼女は、あっけらかんと「また次がある」と笑った。

(5) 奇しくも

- ① 奇しくも友だちならば、助けの手を差し伸べて当然だろう。
- ② 彼女は大きなチャンスを逃してしまったが、奇しくも平然としている。
- ③ 待ち望んでいた受賞の知らせが届いたのは、奇しくも彼の二十歳の誕生日だった。

【2】例にならって、以下の(1)～(5)の【 】に入る最も適切なものを各群の①～③から一つ選び、 に○を記しなさい。

例) スcoopを狙う記者たちの間では、生き馬の【 】ような情報戦が日々繰り広げられている。

- ① 毛を抜く
 ② 群を抜く
 ③ 目を抜く

(1) 【 】ような一言が、長年育んできた二人の信頼関係を壊すことに繋がってしまった。

- ① 水を打った
 ② 水に流す
 ③ 水を差す

(2) 米価高騰の影響を受け、古古古米まで販売されるようになるとは、【 】世の中になったものだ。

- ① 世知辛い
 ② 生半可な
 ③ 甲斐甲斐しい

(3) 駅前の交差点の真ん中にあのような大規模陥没が起こるとは、聞く【 】恐ろしい。

- ① だに
 ② こそ
 ③ とて

(4) 慎重に審議を重ねてきたが、彼が【 】ことで会議に混乱が生じ、一時中断することになった。

- ① 背中を押した
 ② 横車を押した
 ③ 太鼓判を押した

(5) 信じていたあなたがあのような態度に出たのは【 】残念である。

- ① まんざら
 ② あながち
 ③ いささか

【3】 課題文を読んで、以下の問1、問2に答えなさい。

【課題文】

人間には、いくつもの顔がある。——私たちは、このことをまず肯定しよう。相手次第で、自然と様々な自分になる。それは少しも後ろめたいことではない。どこに行ってもオレはオレでは、^(例)面倒臭がられるだけで、コミュニケーションは成立しない。

だからこそ、人間は決して⁽¹⁾唯一無二の「(分割不可能な)個人 individual」ではない。複数の「(分割可能な)分人 dividual」である。

人間が常に首尾一貫した、分けられない存在だとすると、現にいろいろな顔があるというその事実と⁽²⁾矛盾する。それを解消させるには、自我(=「本当の自分」)は一つだけで、あとは、表面的に使い分けられたキャラや仮面、ペルソナ等に過ぎないと、価値の序列をつける以外にない。

しかし、その考え方は間違っている。

理由その一。もしそう考えるなら、私たちは、誰とも「本当の自分」でコミュニケーションを図ることが出来なくなるからだ。すべての人間関係が、キャラ同士、仮面同士の⁽³⁾化かし合いになる。それは、他者と自分とを両方とも不当に^{おとし}貶める⁽⁴⁾錯覚であり、実感からも遠い。

理由その二。分人は、こちらが一方的に、こうだと決めて演じるものではなく、あくまでも相手との相互作用の中で⁽⁵⁾生じる。キャラや仮面という⁽⁶⁾比喩は、表面的というだけでなく、一旦主体的に決めてしまうと⁽⁷⁾硬直的で、インタラクティブでない印象を与える。

しかし、実際に私が実家の祖母や友人との間にそれぞれ持っている分人は、長い時間をかけたコミュニケーションの中で喜怒哀楽様々な反応を交換した結果である。また関係性の中でも変化し得る。何年も経てば、出会った頃とは、お互いに口調も表情も変わっているだろう。それを一々、仮面を付け替えたとか、仮面が変容したとか説明するのは無理がある。

理由その三。他者と接している様々な分人には実体があるが、「本当の自分」には、実体がないからだ。——そう、それは結局、⁽⁸⁾幻想にすぎない。

私たちは、たとえどんな相手であろうと、その人との対人関係の中だけで、自分のすべての可能性を発揮することは出来ない。中学時代の私が、小説を読み、美に⁽⁹⁾憧れたり、人間の生死について考えたりしていたことを、級友と共有出来なかったのは、その一例である。だからこそ、どこかに「本当の自分」があるはずだと考えようとする。しかし、実のところ、小説に共感している私もまた、その作品世界との相互作用の中に生じたもう一つ別の分人に過ぎない。決してそれこそが、唯一価値を持っている自分ではなく、学校での顔はその自分によって演じられ、使い分けられているのではないのだ。

分人はすべて、「本当の自分」である。

私たちは、しかし、そう考えることが出来ず、唯一無二の「本当の自分」という幻想に捕らわれ

てきたせいで、非常に多くの苦しみとプレッシャーを受けてきた。どこにも実体がないにも拘らず、それを知り、それを探さなければならないと^{そそのか}(10)四六時中 嗾 されている。

それが、「私」とは何か、という、アイデンティティの問いである。

(平野啓一郎『私とは何か——「個人」から「分人」へ』講談社による。出題の都合上、一部中略した箇所がある。)

問1 文章中の(1)～(10)の下線部の漢字の読み方をひらがなで()内に書きなさい。

丁寧な文字ではっきりと、濁点の有無もわかるように書くこと。

(例) (め ん ど う)

(1) ()

(2) ()

(3) ()

(4) ()

(5) ()

(6) ()

(7) ()

(8) ()

(9) ()

(10) ()

2026年度

総合型選抜Ⅲ 発信コミュニケーション型

適性検査Ⅱ

以下の課題について、英語200単語程度で述べなさい。

<課題>

日本には「無宗教」の人が多くと言われているが、あなたはこの考え方についてどう思うか。日本の社会や文化において宗教はどのような意味を持っているか。それが重要かどうかを含めて、自分の考えを述べなさい。